

平成28年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会

第57回全国高等学校ヨット選手権大会

帆走指示書



美以咲 君の笑顔と努力の華

主 催	(公財)全国高等学校体育連盟 (公財)日本セーリング連盟 和歌山県 和歌山県教育委員会 和歌山市 和歌山市教育委員会
共 催	読売新聞社
後 援	スポーツ庁 (公財)日本体育協会 日本放送協会 (公社)和歌山県体育協会 和歌山市体育協会
主 管	(公財)全国高等学校体育連盟ヨット専門部 和歌山県高等学校体育連盟 和歌山県セーリング連盟
特別協賛	大塚製薬
協 賛	JTB マイナビ カンコー学生服
会 場	和歌山セーリングセンター

帆走指示書

1 規則

- 1.1 本大会は『セーリング競技規則2013～2016』に定義された規則（以下「規則」という。）を適用する。
- 1.2 本大会は『セーリング装備規則2013～2016』を適用する。
- 1.3 規則87に基づき、国際FJクラス規則24th MAY 2010を国際FJクラス規則2004に変更する。
また、国際FJクラス規則2004 C. 4. 1を(公財)日本セーリング連盟規定 6に変更する。ただし、(公財)全国高等学校体育連盟「競技者及び指導者規則規定」がすべてに優先する。「競技者及び指導者規則規定」は全国高等学校体育連盟ホームページから入手できる。

2 競技者への通告

競技者への通告は、新クラブハウス北側に設置された公式掲示板に掲示する。

3 帆走指示書の変更

帆走指示書（以下「指示」という。）の変更は、それが発効する当日の9：00までに掲示する。ただし、レース日程の変更は、発効する前日の18：00までに掲示する。

4 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、新クラブハウス北側2階テラスに設置された信号柱に掲揚する。
- 4.2 音響信号と共に掲揚されるD旗は、「予告信号は、D旗の掲揚後30分以降に発する。〔艇は、この信号を発せられるまで、指定されたバースから離れてはならない〕」ことを意味する。
- 4.3 指示5.1及び5.7に示した個別の種目（以下「クラス」という。）のレースに対してAP旗を掲揚しない。
予告信号予定時刻の30分前までにD旗を掲揚しない場合、そのレースのスタートは、時間に定めなく延期している。

5 レース日程

5.1 レース日程

日程	時刻	
8月12日(金)	13:25	女子420級 トライアル・レースの予告信号
	13:35	女子F J級 トライアル・レースの予告信号
	14:25	男子420級 トライアル・レースの予告信号
	14:35	男子F J級 トライアル・レースの予告信号
8月13日(土)	9:55	女子420級 第1レースの予告信号
	10:05	女子F J級 第1レースの予告信号
	10:55	男子420級 第1レースの予告信号
	11:05	男子F J級 第1レースの予告信号
8月14日(日)	9:55	その日の最初のクラスの予告信号
8月15日(月)	9:55	その日の最初のクラスの予告信号
8月16日(火)	9:25	その日の最初のクラスの予告信号

- 5.2 レース数は、各クラス7レースとする。1日各クラス2レース(8月16日(火)は各クラス1レース)を予

定する。

- 5.3 1日の最大レース数は、各クラス3レースとする。
- 5.4 天候その他レース日程等の理由により、次の日のレースを前倒しして行う場合がある。
- 5.5 レース日の毎朝8:45から、新クラブハウス前にて、レース委員会・プロテスト委員会・監督・主将によるブリーフィングを行う。
- 5.6 1つのレース又は一連のレースが、間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に音響1声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。
- 5.7 各クラスのレース終了後、その日の次のレースのスタート予告信号予定時刻を公式掲示板に掲示する。
- 5.8 8月16日(火)は、12:00より後に予告信号を発しない。

6 クラス旗

クラス旗は次の通りとする。

クラス	旗の色と形象
男子 420級	白地に青の420形象
女子 420級	青地に白の420形象
男子 F J級	白地に青のF J形象
女子 F J級	青地に白のF J形象

7 レース・エリア

「添付図 1」 にレース・エリアの位置を示す。

8 コース

- 8.1 「添付図 2」の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 8.2 予告信号以前に、レース委員会の信号艇船尾に、帆走すべきコース、最初のレグのおおよそのコンパス方位を示す掲示板を掲示する。

9 マーク

- 9.1 マーク1、2、3 s、3 p、4 s及び4 pは青色の円筒形ブイとする。
- 9.2 指示12に規定する新しいマークは赤色の円筒形ブイとする。
- 9.3 スタート・マークはスターボードの端にあるレース委員会の信号艇とポートの端にあるレース委員会艇とする。
- 9.4 フィニッシュ・マークはスターボードとポートの端にあるレース委員会艇とする。

10 予備

11 スタート

- 11.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールのコース側の間とする。
- 11.2 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、「添付図 3」に示す待機エリアラインを越えてスタート・ラインに近づいてはならない。

11.3 スタート信号後、4分より後にスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった』(DNS)と記録される。

これは規則A4を変更している。

11.4 U旗が準備信号として掲揚された場合には、スタート信号前の1分間に、艇体、乗員又は装備の一部でも、スタート・ラインの両端と最初のマークとで作られる三角形の中にあってはならない。艇がこの規則に違反して、特定された場合には、その艇は審問なしに失格とされる。ただし、レースが再スタート又は再レース、又はスタート信号前に延期又は中止された場合には、失格とはされない。U旗による失格の得点は「UFD」と記録される。これは規則26及び規則A11を変更している。

1 2 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(又はフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できればすぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

1 3 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールのコース側の間とする。

1 4 ペナルティー方式

14.1 付則Pが適用される。

14.2 参加艇数とは、本大会に参加が認められた艇の数とする。

1 5 ターゲットタイム

15.1 各クラスのそれぞれのターゲットタイムは、次の通りとする。

クラス	ターゲットタイム
男女420級	45分
男女F J級	45分

15.2 規則30.3及び指示11.4に違反しないでスタートした先頭艇がコースを帆走してフィニッシュした後15分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった』(DNF)と記録される。この項は規則35、A4、A5を変更している。

1 6 抗議と救済要求

16.1 抗議書は、プロテスト委員会事務局で入手できる。抗議及び救済又は審問再開の要求は、適切な締切時間内にプロテスト委員会事務局に提出されなければならない。

16.2 抗議締切時刻はその日の当該クラスの最終レース後、又はレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。

16.3 審問の当事者であるか、又は証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後20分以内に通告を掲示する。審問は、公式掲示板に掲示した時刻に始められる。

16.4 レース委員会又はプロテスト委員会による抗議の通告を規則61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。

16.5 指示14に基づき規則42違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは、掲示される。

16.6 指示11.2、18、19、21、23、24、27及び29の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は、規

則60.1(a)を変更している。これらの違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会が決めた場合には、失格より軽減することができる。

16.7 レースを行う最終日では、審問再開の要求は、次の時間内に提出されなければならない。

(a) 要求する当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締切時間内。

(b) 要求する当事者がその当日に判決を通告された後30分以内。

この項は、規則66を変更している。

16.8 レースを行う最終日には、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から30分以内に提出されなければならない。これは規則62.2を変更している。

1 7 得点

17.1 シリーズが成立するためには、1 レースを完了することを必要とする。

17.2 5 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

17.3 指示18.2、18.3、18.4、19.1、19.2の申告の手続き等に違反のあった艇に対して、レース委員会は審問なしに「PTP」の略語を付し、「確定順位+3点」の得点（なお、引き続きのレースが行われた場合、出艇申告の手続きの誤りについてはその直後のレースに、帰着申告の手続きの誤りについてはその直前のレースにペナルティーを課す）を記録する。ただし、その艇は、「DNF」の艇より悪い得点を与えられることはない。これは、規則63.1及び付則A5を変更している。

1 8 安全規定

18.1 競技者は衣類又は個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、水上にいる間は個人用浮揚用具（ライフ・ジャケット）を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは個人用浮揚用具ではない。クラス規則により規定された場合を除き、個人用浮揚用具の浮力は、CE CN393(CE50N-50ニュートン)又は最低5kgの浮力を要しなければならない。

18.2 出艇しようとする競技者は、出艇・帰着申告所にある申告書に署名することにより出艇申告と帰着申告を行わなければならない。出艇申告は当該レースのD旗掲揚10分後までに署名し、帰着申告は当該クラスのレース終了後（引き続きレースが行われた場合は、そのレース終了後）60分後までに署名しなければならない。ただし、レース委員会の裁量によりこの時間を延長することがある。海上にてH旗又はA旗が掲揚された場合、規則レース信号の意味に加え、「ハーバーに帰着し、帰着申告を行うこと」を意味する。

18.3 レースの中止又は延期により帰着した場合も帰着申告を行わなければならない。また、中止又は延期されたレースが再開される場合、出艇前に指示18.2に従い再度出艇申告を行わなければならない。

18.4 レースからリタイアする艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。加えて艇長（レース委員会が正当な理由があると認めた場合は、その代理人）は、指示18.2の帰着申告を行ったうえ、リタイア報告書をレース委員会事務局に提出しなければならない。

18.5 艇が救助を要請する場合には、救助する船に対して片手を高く上げて合図を送ることとする。ただし、レース委員会又はプロテスト委員会は、危険な状態にあると判断したレース艇に対して、リタイアを勧告する。また、緊急救助を要すると判断した場合には、競技者の意思に拘わらず強制的に救助を行うことができる。この場合、艇からの救済要求は認めない。

1 9 乗員の交代と装備の交換

19.1 乗員届は、次のとおりレース委員会事務局に提出しなければならない。

(a) 8月12日（トライアル・レースの日）の11：55～12：25

(b) 8月13日（最初のレースの日）の8：15～8：45

ただし、その後乗員の変更を行う場合には、その都度新たな乗員届を出艇申告時に申告所に提出しなければならない。

19.2 海上で引き続き行われるレースでの乗員の変更を希望するチームは、指示18.2、19.1の手続きを行ったうえ、交代要員を定められた時刻までに指定場所へ待機させねばならない。この時刻は先頭艇フィニッシュ後、レース委員会により公式掲示される。交代要員の移送はレース委員会艇が行う。

19.3 損傷又は紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の適切な機会に、書面により計測・競艇部に行わなければならない。

2 0 装備と計測のチェック

艇又は装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。水上で艇は、レース委員会のエキップメント・インスペクター又はメジャーにより、検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。

2 1 航跡記録装置

毎朝のブリーフィングで指定されたクラスの艇は、レース委員会により準備された「航跡記録装置」を指定された位置に搭載しなければならない場合がある。機器は指示18.2で行われる出艇申告時に受け取り、帰着申告時に返却しなければならない。

2 2 運営艇

運営艇の標識は、次のとおりとする。

運営艇	識別旗
競技委員会	白地に赤字「V I P」
レース委員会	白地に赤字「R C」
プロテスト委員会	赤地に白字「P R O T E S T」
救助艇	緑地に白字「R E S C U E」
報道艇	白地に緑文字「M E D I A」
計測艇	白地に赤字「M E A S U R E M E N T」

2 3 監視艇

23.1 監視艇が出艇する際は、出艇・帰着申告所にある申告書に署名することにより出艇申告と帰着申告を行わなければならない。指示4に規定する「D旗」が掲揚されていない場合、監視艇もこれに従うものとする。出艇申告は、その日最初の「D旗」掲揚10分後までに署名し、その日最後のレース終了後60分後までに署名しなければならない。

23.2 監視艇は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするか若しくはリタイアするか、又はレース委員会が延期、ゼネラル・リコール若しくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアから100m以上外側にいなければならない。

23.3 監視艇は、レース委員会が準備するピンク色旗の標識を海上にいる間掲揚しなければならない。

23.4 レース委員会は荒天等の理由により、監視艇に対し救助の要請を行う場合がある。それぞれのレース委

員会艇がピンク色の旗を掲揚した場合は、それぞれのレース委員会艇から指示を受け、それに従わなくてはならない。レース委員会はこの指示を知らせる為、マリンVHF（72チャンネルを使用）の搭載を推奨する。

23.5 監視艇に乗艇する全ての要員は、競技艇の帆走に影響する行動（引き波を立てることを含む）を取ってはならない。監視艇の行動が競技の公平性に影響を及ぼしたと判断される場合は、その艇に乗艇していた要員、関係する競技者、またはその両方に、プロテスト委員会によりペナルティーが課せられる場合がある。

2 4 ごみの処分
ごみは、監視艇又は大会運営艇に渡してもよい。

2 5 予備

2 6 予備

2 7 無線通信
緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。ただし指示21の機器は含まない。

2 8 賞
賞は実施要項の通りとする。

2 9 学校名シール及び識別マーク
艇は割当てられた学校名シールをセールに貼付しなければならない。女子F J級及び女子420級は、実行委員会が用意する赤色で菱形の識別マークを両面の同じ位置に表示しなければならない。学校名シール、赤色で菱形の識別マークは、受付時に配布する。貼付箇所は「添付図 4」に示す。

3 0 責任の否認
競技者は、完全に自己のリスクでレガッタに参加している。規則4『レースをすることの決定』参照。
主催団体及びこれに関わる全ての団体、役員その他全ての関係者は、競技者がレガッタ前、レガッタ中又はレガッタ後において受けた物的損傷又は個人の負傷もしくは死亡に対して責任を否認する。

潮汐表 [和歌山]

日付	潮	満潮				干潮			
		時刻	潮位(cm)	時刻	潮位(cm)	時刻	潮位(cm)	時刻	潮位(cm)
8月10日(水)	小	11:00	141	22:44	160	4:53	89	16:31	105
8月11日(木)	小	12:35	135	23:31	154	6:02	88	17:28	118
8月12日(金)	長	15:03	139	*	*	7:26	84	19:02	127
8月13日(土)	若	0:37	151	16:11	150	8:45	76	20:59	127
8月14日(日)	中	2:01	152	16:50	162	9:42	65	22:04	122
8月15日(月)	中	3:15	158	17:21	173	10:26	53	22:46	113
8月16日(火)	大	4:11	168	17:49	183	11:04	41	23:21	103

添付図 1 ハーバー及びレース・エリア

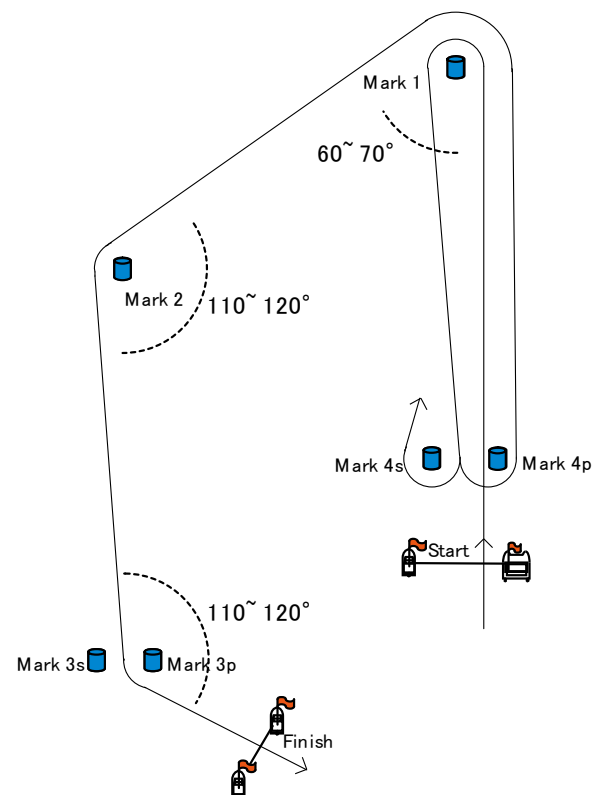


添付図 2 レース・コース

コース “I” トラペゾイド インナーループ

I2: Start-1-4s/4p-1-2-3p-Finish

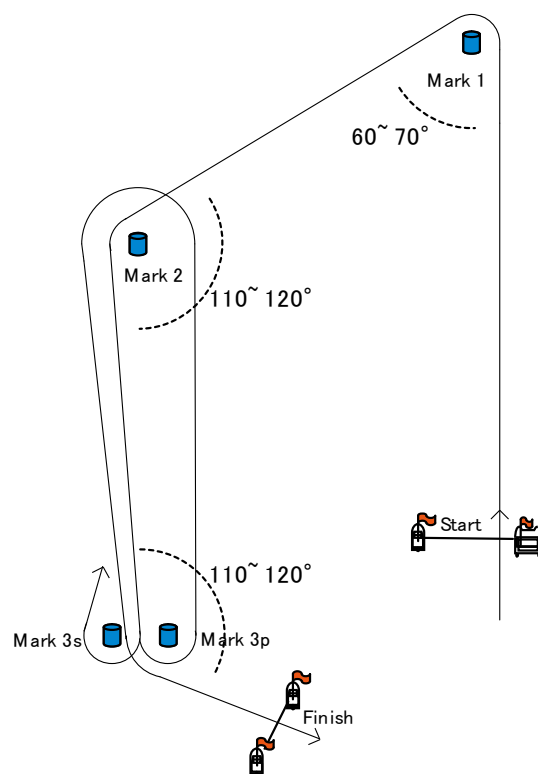
I3: Start-1-4s/4p-1-4s/4p-1-2-3p-Finish



コース “O” トラペゾイド アウターループ

O2: Start-1-2-3s/3p-2-3p-Finish

O3: Start-1-2-3s/3p-2-3s/3p-2-3p-Finish



添付図 3 待機エリアライン図

